

大阪千代田短期大学 実務経験を生かした授業とその内容・担当教員 2021年度

科目名	単位数	教員	授業の目的と内容	実務経験の内容
人権を学ぶ	2	黒田 浩継	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に現実に存在する人権問題の具体的な事例を当事者の視点から考察し、人権尊重の重要性・必要性について理解を深める。 ・人権問題を自らの生き方につなげ、人権を尊重する人間として、他者との関わりについて考え、実践する力を身に付けることをねらいとする。 	大阪府教育庁、大阪府教育センターにおいて人権教育を担当。この経験をもとに人権についての基本的な内容について指導する。
幼児と環境	1	坂本 渉	幼児期の保育は環境を通して行うものである。領域「環境」について、保育における子どもをとりまく環境とのかかわりについて実践的に学ぶ。保育における環境の意味や重要性について考えるとともに、体験を通して環境への理解を深めることを目的とする。	幼稚園教諭、主任、また保育所保育士として勤務。 この経験をもとに保育の基本を指導する。
幼児と言葉	1	坂本 渉	三法令(幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領)に示された領域「言葉」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深める。また、言葉の育つ道筋と保育者のかかわりや役割について知る。	幼稚園教諭、主任、また保育所保育士として勤務。 この経験をもとに保育の基本を指導する。
表現技術(ピアノⅡ)	1	寄 ゆかり, 瀬尾 麻巳, ほか	<p>1 コマをグループ、個人レッスン、アドバイザーレッスン(集中練習)に分割し、授業を行う。</p> <p>【グループ】 幼児の様々な表現方法を豊かにするための表現遊びや歌唱、弾き歌い等を総合的に学ぶ。</p> <p>【個人レッスン】 ピアノの基本的な演奏法を学び、その技術を向上させることにより、保育で活用できる演奏力を身につける。</p>	音楽教室での指導においては、3歳児からピアノ、エレクトーン指導ほか、打楽器、管楽器指導を行う。現役保育者に対しても、音楽表現に関する研修などを行っている。

科目名	単位数	教員	授業の目的と内容	実務経験の内容
教職・保育者論	2	板倉 史郎, 葛目 己恵子	学校教育・保育の目的と教員・保育士養成の変遷について概説し、現代社会における教職・保育職について、その意義、役割、資質、職務について学習する。	・小学校教員の経験を活かして、子ども理解や保護者対応、幼小連携等について、知識や対応を説明する。
特別支援教育	1	宮本 直美	現代の特別支援教育に至る今日までの歴史的変遷、基本理念、制度、教育内容や保育内容について理解する。現代社会における特別なニーズを持つ子どもたちの実態について理解した上で、保育者として特別支援教育に関するシステム、指導法の基本的な理解をする。	小学校において、特別支援コーディネーターとして、特別な教育的ニーズを持つ児童に対する指導や支援を行った(宮本直美)。
教育課程論	2	坂本 涉	幼稚園・保育所等における「教育課程」「全体的な計画」の編成の基本的な考え方を理解し、その必要性と重要性を認識する。また、「教育課程」「全体的な計画」の編成および指導計画作成上の留意点や基本的知識を身につけるとともにカリキュラム・マネジメントと評価ならびに改善について理解することを目的とする。	幼稚園教諭、主任、また保育所保育士として勤務。 この経験をもとに保育の基本を指導する。

科目名	単位数	教員	授業の目的と内容	実務経験の内容
教育実習	4	板倉 史郎,本田 和隆,ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・この実習は、幼稚園教諭2種免許を取得するための基礎及び応用的な実習である。実習を通じて、幼稚園教諭として必要な知識と技術を身につけ、教員としての資質を向上させることを目的としている。 ・教育実習では、幼稚園の教育活動に参加し、幼稚園教諭の業務と役割について実践的に学ぶ参加実習、教育活動にかかわる計画を立案し、部分実習、責任実習に参加する。また、そこでの実習指導者指導のもと、幼稚園教諭に必要な資質、技能を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において実習担当として指導にあたった経験をもとに、実習生として大切にすべきことを中心に知識や対応を指導する。
教育実習指導	1	板倉 史郎,本田 和隆,ほか	<p>本授業は、教育実習に参加するための事前・事後指導を行うことを目的とする。</p> <p>講義、演習で学んだ知識や技能を基礎にして、これらを総合的に関連づけ、子ども理解と豊かな実践力の基礎を養い、及び幼稚園の子どもを取り巻く環境を理解することを目的としている。幼稚園の現状の理解やそこで求められる保育者としての力量を高めるための講義、演習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において実習担当として指導にあたった経験をもとに、実習生として大切にすべきことを中心に知識や対応を指導する。
子ども家庭支援論	2	宮本 直美	<p>現代の子育て家庭の抱える課題や現状について理解するとともに、子育て家庭への支援として保育者として求められているものは何かについて検討する。また、支援体制について理解するとともにニーズに応じた多様な支援の展開について学ぶこと目的とする。</p>	<p>子ども・子育て総合センターにおいて、地域における子育て家庭の福祉を図るための取り組みを行う（ゲストティーチャー：新谷紀子）。</p>

科目名	単位数	教員	授業の目的と内容	実務経験の内容
子どもの保健	2	釜島 美智代	子どもの身体発育・生理機能の発達の様子と子どもによくみられる症状や子どもに多い病気について学習し、病気の早期発見、体調の変化への対応ができる知識を得ることを目的とする。	小児病棟勤務、病児保育室勤務、小児救急電話相談相談員
保育実習Ⅰ(保育所)	2	板倉 史郎,本田和隆,ほか	本実習は、保育士資格を取得するための実習である。実習を通じて保育士として必要な知識と技術を見につけ、その資質を向上させることを目的としている。保育実習Ⅰ(保育所)では、保育士としての保育活動に参加し、実習指導者の指導のもと、保育士の業務と役割について実践的に学ぶ。また、活動に関わる計画、子どもや利用者の発達に応じた関わり方を学ぶ。	・小学校において実習担当として指導にあたった経験をもとに、実習生として大切にすべきことを中心に知識や対応を指導する。
保育実習指導Ⅰ(保育所)	1	板倉 史郎,本田和隆	本授業は、保育実習Ⅰ(保育所)の参加するための事前・事後指導を行うことを目的とする。講義、演習で学んだ知識や技能を基礎にして、これらを総合的に関連づけ、子ども理解と豊かな実践力の基礎を養うこと、及び保育所の子どもを取り巻く環境を理解することを目的としている。保育所の現状の理解やそこで求められる保育者としての力量を高めるための講義、演習を行う。	・小学校において実習担当として指導にあたった経験をもとに、実習生として大切にすべきことを中心に知識や対応を指導する。

科目名	単位数	教員	授業の目的と内容	実務経験の内容
保育実習指導Ⅰ(福祉施設)	1	板倉 史郎,本田 和隆	本授業は、保育実習Ⅰ(福祉施設)の参加するための事前・事後指導を行うことを目的とする。 講義、演習で学んだ知識や技能を基礎にして、これらを総合的に関連づけ、子ども理解と豊かな実践力の基礎を養うこと、及び福祉施設を取り巻く環境を理解することを目的としている。福祉施設の現状の理解やそこで求められる保育者としての力量を高めるための講義、演習を行う。	・小学校において実習担当として指導にあたった経験をもとに、実習生として大切にすべきことを中心に知識や対応を指導する。
保育内容の指導法(環境)	1	坂本 涉	子どもをとりまく様々な環境において、それらを生活やあそびに取り入れていく力を育むための知識を深め、領域「環境」にかかわる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけることを目的とする。	幼稚園教諭、主任、また保育所保育士として勤務。 これらの実務経験に基づいて指導する。
保育内容の指導法(言葉Ⅰ)	1	坂本 涉	領域「言葉」の指導基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身につけ、想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を修得することを目的とする。	幼稚園教諭、主任、また保育所保育士として勤務。 これらの実務経験に基づいて指導する。
保育内容の指導法(言葉Ⅱ)	1	坂本 涉	領域「言葉」の指導基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身につけ、想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を修得することを目的とする。言葉Ⅱでは、言葉Ⅰでの学びを踏まえ、言葉の発達を理解したうえで、具体的な保育場面を想定しながら、言葉の指導法について実践的に学ぶ。	幼稚園教諭、主任、また保育所保育士として勤務。 これらの実務経験に基づいて指導する。

科目名	単位数	教員	授業の目的と内容	実務経験の内容
保育内容の指導法 (音楽表現Ⅰ)	1	寄 ゆかり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の様々な表現方法を豊かにするための表現遊びとその環境構成を実践的に学ぶ。 ・ 表現遊びの中でも、音楽を主体とした展開方法を身につける。 ・ 表現遊びに必要な鍵盤演奏力の向上を目指す。 ・ 鍵盤演奏を用いた音楽表現の指導法を習得する。 ・ 鍵盤楽器以外の楽器の奏法を学びながら、保育に取り入れる指導法を学ぶ。 ・ 音楽を取り入れた保育計画の立案について学ぶ。 ・ よりよい保育計画案に改善できることを目指す。 ・ 演奏を修得する上で必要な音楽理論も学ぶ。 	ヤマハでの音楽教育、保育現場への研修講師などの実務経験がある。
保育内容の指導法 (音楽表現Ⅱ)	1	寄 ゆかり	<p>保育内容の指導法（音楽表現Ⅰ）で学んだことをもとに、さらに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の様々な表現方法を豊かにするための表現遊びとその環境構成を実践的に学ぶ。 ・ 表現遊びの中でも、音楽を主体とした展開とその発展方法を身につける。 ・ 表現遊びに必要な鍵盤演奏力の向上を目指す。 ・ 様々な楽器を用いた合奏法を学ぶ。 ・ 情報機器を用いた保育計画の立案について学ぶ。 ・ よりよい保育計画案に改善できることを目指す。 ・ 演奏を修得する上で必要な音楽理論も学ぶ。 	ヤマハ音楽教室ではピアノ、エレクトーンをはじめ、打楽器、管楽器も指導。その後、保育現場への研修も行っている。

科目名	単位数	教員	授業の目的と内容	実務経験の内容
教育相談	1	本田 和隆	<p>保育者の業務が社会環境の変化を受けて、施設の子どもに対する保育からすべての子どもと保護者に対する子育て・子育て支援へと広がりを見せてきた。</p> <p>そのような中で、保育者の専門性を活かした保育・教育相談の意味を理解する必要がある。子どもの発達状況に即しつつ、心理的特質や教育的課題を支援するために必要な基礎的事項を身に付け、子どもとその家庭を包括的に捉えた教育相談について理解できるようになることを目的とする。</p>	<p>小学校の通常の学級の担任として、保護者に対する教育相談を行った（宮本直美）。</p>
教育実習	4	板倉 史郎,本田 和隆	<ul style="list-style-type: none"> ・この実習は、幼稚園教諭2種免許を取得するための基礎及び応用的な実習である。実習を通じて、幼稚園教諭として必要な知識と技術を身につけ、教員としての資質を向上させることを目的としている。 ・教育実習では、幼稚園の教育活動に参加し、幼稚園教諭の業務と役割について実践的に学ぶ参加実習、教育活動にかかわる計画を立案し、部分実習、責任実習に参加する。また、そこでの実習指導者指導のもと、幼稚園教諭に必要な資質、技能を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において実習担当として指導にあたった経験をもとに、実習生として大切にすべきことを中心に知識や対応を指導する。

科目名	単位数	教員	授業の目的と内容	実務経験の内容
教育実習指導	1	板倉 史郎,本田 和隆	本授業は、教育実習に参加するための事前・事後指導を行うことを目的とする。 講義、演習で学んだ知識や技能を基礎にして、これらを総合的に関連づけ、子ども理解と豊かな実践力の基礎を養うこと、及び幼稚園の子どもを取り巻く環境を理解することを目的としている。幼稚園の現状の理解やそこで求められる保育者としての力量を高めるための講義、演習を行う。	・小学校において実習担当として指導にあたった経験をもとに、実習生として大切にすべきことを中心に知識や対応を指導する。
保育・教職実践演習	2	板倉 史郎,松浦 善満	保育・教職に関する科目の学習及び保育実習、教育実習、学校外の活動などを通して、保育・教職に関する基礎的知識と技能が獲得できたかを確認し、保育・教職についての理解と職業意識を深める。	・小学校教員の経験を活かして、子ども理解や保護者対応、幼小連携等について、知識や対応を説明する。
子ども家庭支援の心理学	1	宮本 直美	園などの施設で子どもに関わるうえで、子どもの発達に関する知識と共に、その子どもたちを取り巻く親なども含めた包括的な理解が求められる。この科目では、生涯にわたる発達について理解し、子どもだけではなく周りにいる大人や社会的背景を含めたうえでの子ども理解を目指す。	小学校において特別支援教育コーディネーターとして、特別な支援を必要とする家庭への援助や支援を行った(宮本)。
子育て支援	1	宮本 直美	保育士による子育て支援の特性や実践的な事項（支援の具体的内容・方法・技術、事例検討の実際など）について学び、保育の専門性を活かした子育て支援に関する実践力を養うことを目的とする。	小学校において特別支援教育コーディネーターとして、特別な支援を必要とする家庭への子育ての援助や支援を行った(宮本)。

科目名	単位数	教員	授業の目的と内容	実務経験の内容
保育実習Ⅰ(福祉施設)	2	板倉 史郎,本田 和隆,ほか	<p>本実習は、保育士資格を取得するための実習である。実習を通じて保育士として必要な知識と技術を見つけ、保育士として必要な資質を向上させることを目的としている。</p> <p>保育実習Ⅰ(福祉施設)では、福祉施設の活動に参加し、実習指導者の指導のもと、保育士の業務と役割について実践的に学ぶ。また、活動に関わる計画、子どもや利用者の発達に応じた関わり方を学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において実習担当として指導にあたった経験をもとに、実習生として大切にすべきことを中心に知識や対応を指導する。
保育実習指導Ⅰ(福祉施設)	1	板倉 史郎,本田 和隆	<p>本授業は、保育実習Ⅰ(福祉施設)の参加するための事前・事後指導を行うことを目的とする。</p> <p>講義、演習で学んだ知識や技能を基礎にして、これらを総合的に関連づけ、子ども理解と豊かな実践力の基礎を養うこと、及び福祉施設を取り巻く環境を理解することを目的としている。福祉施設の現状の理解やそこで求められる保育者としての力量を高めるための講義、演習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において実習担当として指導にあたった経験をもとに、実習生として大切にすべきことを中心に知識や対応を指導する。
保育実習Ⅱ	2	板倉 史郎,本田 和隆,ほか	<p>本実習は、保育実習Ⅰ(保育所・福祉施設)の内容をふまえた応用実習である。乳児、障害児も対象とした、実習経験の集大成となる責任実習である。実習を通じ、保育士として必要な資質、技能を習得するだけでなく、家族や地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解、判断力を養い、子育てを支援するために必要な能力を養うことを目的としている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において実習担当として指導にあたった経験をもとに、実習生として大切にすべきことを中心に知識や対応を指導する。

科目名	単位数	教員	授業の目的と内容	実務経験の内容
保育実習指導Ⅱ	1	板倉 史郎,本田 和隆,ほか	<p>【授業の目的】 本授業は、保育実習Ⅱに参加するための事前、事後指導を行うことを目的とする。</p> <p>【授業の概要】 講義、演習で学んだ知識や技能を基礎にして、これらを総合的に関連付け、子ども理解と豊かな実践力の応用を養うこと、子どもを取り巻く環境を子育て支援、地域支援の立場から観察し、保育実践を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において実習担当として指導にあたった経験をもとに、実習生として大切にすべきことを中心に知識や対応を指導する。
保育実習Ⅲ	2	板倉 史郎,本田 和隆,ほか	<p>本実習は、保育実習Ⅰ（保育所）の内容をふまえた応用実習である。実習経験の集大成となる指導実習である。実習を通じ、福祉施設職員に必要な資質、技能を習得するだけでなく、家族や地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解、判断力を養い、子育てを支援するために必要な能力を養うことを目的としている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において実習担当として指導にあたった経験をもとに、実習生として大切にすべきことを中心に知識や対応を指導する。

科目名	単位数	教員	授業の目的と内容	実務経験の内容
保育実習指導Ⅲ	1	板倉 史郎,本田 和隆	<p>【授業の目的】 本授業は、保育実習Ⅲに参加するための事前、事後指導を行うことを目的とする。</p> <p>【授業の概要】 講義、演習で学んだ知識や技能を基礎にして、これらを総合的に関連付け、子どもや障害者理解と豊かな実践力の応用を養うこと、および学童保育、障害者施設などを利用する利用者を取り巻く環境を理解することを目的としている。保育実習指導Ⅲでは、実施される保育実習Ⅲの実習のための事前・事後 指導を行う。児童館や障害者施設での現状を理解し、そこで求められる保育の力量を高めるための講義・演習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校において実習担当として指導にあたった経験をもとに、実習生として大切にすべきことを中心に知識や対応を指導する。
こども音楽療育演習	1	茂野 仁美	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な楽器を演奏し音楽療育プログラム案の中で活用できる。 ・ 手遊び、音楽身体遊び、歌唱を音楽療育プログラム案に取り入れ実践できる。 ・ 音楽療育の対象者に合わせた音楽プログラムが作成できる。 ・ 音楽療育の対象者に合わせた音楽プログラムが実践できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しょうがい児のための音楽療法サークルの運営と実践のほか、小学校の支援学級に在籍の児童を対象に音楽療法のセッションを行ってきた。
合計	48			